

よらねかむ 小合

2024.9.15 第88号

発行者 小合地域コミュニティ協議会 (コミュニティセンター内) ☎ 0250-25-2299 発行人 / 阿部 繁 編集 / 総務部	地域の人口動態 令和6年8月末現在 世帯数 1,294 世帯 男 1,732 人 女 1,779 人 人口 3,511 人
---	--

『小合バイパス』実現に向けて好機到来 !!

～403号の複線化、大規模圍場整備計画を受けて～

早期開通に目途を 挑戦して20年



国道403号の4車線化の早期事業化を図る「要望書」が、斎藤洋明衆議院議員、栗原学県議、新潟市議団（秋葉区選出）、新津商工会議所、秋葉区コミ連会長の皆さんにより新潟市長及び新潟国道事務所長宛に本年1月に提出されました。新潟市長からは、令和7年度からの事業化に向けて計画していきたいとの回答がありました。その「要望書」の付帯事業として国道460号（小合バイパス）の整備計画を早期に示して欲しい旨の要望も同時に行われています。小合コミ協としてもこれを小合バイパス建設促進の好機と捉え、7月21日、自治会長、町内会長の皆さんにも参加していただき関係者会議を開催しました。

関係者会議においては、これまでの20年に及ぶ粘り強い小合コミ協の活動の軌跡の報告＝写真＝と今後の活動について関係者の皆様と連携を図りながら早期に建設が促進されるよう働きかけていくことが決議されました。

ソフトバレーボール大会 R6.6.23



3連覇！見事 大鹿「サンクス」



- 優勝 大鹿サンクス
- 準優勝 栗宮マロン
- 第3位 大鹿1区A



7チーム総勢64名の皆さんから参加していただきました。今回は高校生のみで編成されるチームの参加もあり、元気な歓声が小合中学校の体育館に響き、賑やかな大会となりました。

シルバー安全運転サポート教室 R6.7.28

「お役立ち講座」の一環としてシルバー向けの安全運転教室が開催されました。俊敏性の測定では、成績が年齢で表示されるため、何度も挑戦する姿も見られました。また、障害物に対して自動で制御がかかる「サポカー」に実車してその体感覚を体験しました。貴重な経験を通して改めて安全運転を心掛ける良い機会となりました。



秋葉区地区懇談会

R6. 8. 8



長崎秋葉区長より秋葉区の向かう方向性や具体的な事業への取組みについて説明がありました。質問・意見も多くあり、有意義な懇談会となりました。

【地域課題】（行政への要望事項）

1. 小合東小学校の駐車場の拡張及び多目的室のエアコン早期設置
2. 小合コミセン建物内ロビーに新たにエアコンを設置し、「コミュニティオアシス」としたい。
3. 小合中学校の早期改築
4. 小合東幼稚園の跡地利用として認定こども園を含む児童福祉施設としたい。
5. 国道460号線（小合バイパス）の早期建設促進
6. 浦興野地内の側溝改良及び歩道新設工事の内、令和6年度分工事内容の確認
7. 小合西保育園前の市道交差点に交通事故防止の為の注意喚起（停止線、カラー舗装化等）
8. 大秋地内県道1号と並行する市道に注意標識など交通事故対策設備の新設
9. 川根甲654番地付近の市道南側にカーブミラーの設置
10. 「学校適正配置」について迅速な資料提供と指導及び行政手続きにより住民総意による「要望書」の早期提出に協力願いたい。

【地域課題への回答】

1. 全ての特別教室（多目的室含む）へのエアコン設置を進めている。計画では来年秋以降を予定
2. 施設の利用状況をみながら費用対効果や公共施設整備の優先度を踏まえ検討していきたい。
3. 現在改築の予定はない。劣化・破損等不具合箇所については緊急度や優先度を考慮し、学校と相談しながら必要に応じて修繕していく。
4. 平成元年7月10日付け「要望書」記載の内容を念頭に売却できるよう検討していく。
5. 現在事業中の新潟中央環状道路や小須戸橋架け替えの進捗状況を踏まえ今後検討していく。
6. 令和5年度工事完了箇所～(株)みどり運輸配送センター交差点部までの160mを10月より着手
7. 当該交差点は通学路に指定されている。安全対策については今年度中に通学路安全推進会議で関係機関と協議していく。
8. 道路標識や交通規制は秋葉警察署の管轄。内容は伝えるが、地域からも要望をお願いしたい。
9. 現地を確認したが、市道上にカーブミラーを設置するスペースがない。
10. 昨年の「学校協」設立以降 コミ協とともに協議会、説明会、部会などを実施してきた。今後も地域の皆さんと十分に意見交換を行い、地域の合意のもと検討を進めていきたい。

「新潟市包括支援センターこすど」を紹介します

包括こすど職員の皆さん



新潟市地域包括支援センターこすどでは、小合中学校区、小須戸中学校区、金津中学校区の65歳以上の総合相談窓口を行っております。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師が在籍し、それぞれの専門性を活かして皆様が住み慣れた地域で暮らし続けるためのお手伝いをさせていただきます。

先日、小合地区の民生児童委員の皆様に認知症の出前講座を開催しました。皆さん熱心に聞いていただきありがとうございました。
新潟市地域包括支援センターこすどでは、地域の茶の間やサロンに出向き無料で講座を行っています。内容は「物忘れ予防」「介護予防」等、皆様の聞きたい内容に合わせて行います。
ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。



お問い合わせ：☎ 0250-61-1311

新津郷の一部地域（小合地区を含む）には洪水に襲われても灌水から守られるように特殊な構造の倉が見られます。
屋敷内に1〜2m近く土盛りをした上に建てられた倉庫で



水倉

シリーズ

ふるさと小合のあれこれ

「水倉」と呼ばれ、同じ目的の構造物が、関東地方の荒川や利根川流域では「水塚」、愛知県・岐阜県の本曾三川の流域では「水屋」と呼ばれています。2階建てもしくは中2階の構造で、保存穀物を保護するだけでなく家族が避難し、水が引くまで生活をしてきたものでした。

※外観を見るとその多くは土蔵である。しかしその目的から「水倉」と書く。なぜ「蔵」と書かないのか。「蔵」は富の保管施設であるが「水倉」は災害発生時の一時避難施設であるため、わずかばかりの備蓄食料などの保管が目的でした。
皆さんのご近所にも水（水）のマークの入った倉をきくと見かけますよね。

『おおきなお世話』新藤幸生氏
平成28年制作より抜粋